

授業科目名	ウィメンズヘルス看護学概論	担当教員	◎久保幸代、恵美須文枝 下睦子、岩谷香
必修	開講年次：2年後期	単位：2単位	授業形態：講義 30時間

### 【授業概要】

女性の健康を心理、社会、文化的側面を重視する視点から考え、女性の健康の基礎となる主要な概念について論議する。主な概念として女性のリプロダクティブ・ヘルスと権利、ジェンダーとセクシュアリティ、ヘルスプロモーション、家族看護、メンタルヘルス、ヘルスアセスメントを含む。更に女性のライフサイクル(生涯)を通じて、女性の健康を支援するための考え方や看護支援の方法を学ぶ。

### 【授業目的・目標】

1. ウィメンズヘルスの定義と概念について説明できる。
2. ウィメンズヘルスの基礎となる主な概念について議論する。
3. 女性のライフサイクルを通して、健康を支援するための方法について説明できる。

### 【履修条件】

特になし

### 【授業計画】

- |  |       |
|--|-------|
| [01] 科目オリエンテーション ウィメンズヘルスの概念、女性のライフサイクルと健康、人間にとっての性の意味 | (久保)  |
| [02] 生殖器の解剖と生理Ⅰ (女性生殖器)                                | (岩谷)  |
| [03] 妊娠成立のメカニズム  | (岩谷)  |
| [04] 生殖器の解剖と生理Ⅱ (男性生殖器・性反応)                            | (恵美須) |
| [05] 不妊症看護・出生前診断                                       | (久保)  |
| [06] 思春期の性の健康、性感染症看護                                   | (下)   |
| [07] 人工妊娠中絶と避妊   | (下)   |
| [08] 人間の生(性)について 映画“うまれる”の鑑賞と討論                        | (久保)  |
| [09] 人間の生(性)について 映画“うまれる”の鑑賞と討論                        | (久保)  |
| [10] DVとその看護   | (久保)  |
| [11] 中高年女性の健康と看護(更年期症状・骨粗しょう症・失禁他)                     | (下)   |
| [12] 周産期医療体制と事故予防                                      | (下)   |
| [13] 母子の災害支援   | (久保)  |
| [14] 母子保健の動向と課題  | (下)   |
| [15] 母子保健システム 母子保健に関連した法と施策                            | (久保)  |

### 【教科書】

森恵美他著(2016)系統看護学講座専門分野Ⅱ母性看護学概論, 医学書院

### 【参考書】

特に指定しない。授業の度に資料を配布し、参考文献等を提示する。

### 【評価方法・評価基準】

毎回の授業開始時に行う小テストの成績を総合し、その平均点によって判定する。(100%)

### 【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：講義テーマに応じ提示された資料やテキストで予習する

事後学習：次回の小テストに向け、毎回復習をする。

### 【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅲ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅵ. ヘルスプロモーションと予防に関する知識と実践能力と関連する。

### 【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

学生は、出欠票に毎回の授業コメントを記載し、その内容に随時教員のフィードバックメモを付す。

更に小テスト成績を出欠票に記載し、学生が自らが学習経過を管理する。

### 【備考】

ウィメンズヘルスに関する概念、女性のライフサイクルにおける健康について理解し、3年次の周産期看護援助論につなげる